

令和5年度 事業効果を チェック

決算特別委員会では9月10日から9月17日まで集中審議が行われ、すべて認定すべきものと決定した。



〈子どもの居場所づくりを〉

Q いこつとのロビー等を子ども達へのフリースペース、学習スペースとして広げる事は出来ないか。

A 今、机などを配置し、学習に利用されている。マナーを徹底しながら学習スペースを確保していきたい。



いこつとロビー

〈有害鳥獣への対策を〉

Q ワナの設置や捕獲資格を含めた対策支援拡大が必要と考えるが。

A 町の捕獲許可条件を満たす小型鳥獣の箱ワナ捕獲は、ワナ免許がなくても認められている。小型箱ワナの貸し出しも行っているので、捕獲する前に捕獲申請も含め相談してほしい。



捕獲されたタヌキ

〈観光協会の運営は〉

Q 観光協会は周辺自治体と比較しても旧態依然とした形で事業運営がなされている。法人化や委員会化を行って、自立を促す形が必要だと考えるが。

A 調査研究を行って、より良いあり方につなげていきたい。

〈町職員の人材育成の状況は〉

Q 職員研修にどのように取り組んでいるか。

A 外部での研修も活用しているが、内部での研修を大事に考えている。内部研修では接遇、応対、マナー等を各課で取り組んでいる。

〈運動施設の利用状況について〉

Q グラウンド、体育館等の運動施設の利用状況は。

A 広川中学校の夜間利用については社会人チームの減に伴って、利用数も減っている。体育館・いこつとについては少人数の団体が増え、利用状況は満杯状態。町外利用者等について団体登録の見直しを含めた調整を始めている。